

キャンプで

ぬまづを楽しむ

皆さんは「キャンプ」と聞いてどんなことをイメージしますか。焚き火やキャンプ飯、一人で静かに過ごす時間や家族でワイワイ楽しむバーベキューなど、様々なシーンを思い浮かべるのではないのでしょうか。

昨今、人気が再燃しているキャンプは、日帰りで行くデイキャンプや女性だけで楽しむガールズキャンプなど、様々な形で楽しまれています。なかでも、地域間の移動に注意が必要なコロナ禍では、地元を楽しむ「近場でのキャンプ」が注目を集めています。非日常を楽しむキャンプだからこそ、普段の生活では気がつきにくい地元の魅力を再発見することができます。

本市は、まちなかと海や山、川などの自然が近接しており、仕事終わりなどでも気軽にキャンプが出来る環境が整っています。本格的に夏を感じるこの季節に、皆さんもキャンプを通じて沼津をもっと楽しんでみませんか。



- 1.沼津のクラフトビールで乾杯。雰囲気も相まって楽しい時間を過ごせます。
- 2.車を横付けできるオートキャンプなら荷物が多くても安心です。
- 3.郷内高志さん。ドイツ製のガスランタンはお気に入りのキャンプ道具のひとつ。
- 4.沼津自慢のあしたか牛のステーキ。心もお腹も大満足間違いなしです。
- 5.沼津といえばあじの干物。炭火で焼いたいつもとは違った美味しさをお試しあれ。
- 6.市民の森で実際にタープやテントを張ってもらいました。



キャンプ好きにインタビュー

「自然の中で過ごす時間が大好きなんですよ」と話すのは、家具職人の郷内高志さん。現在、戸田地区を盛り上げるため地域おこし協力隊として活動しています。今回は、大のキャンプ好きの郷内さんにキャンプの魅力や楽しみ方についてお話を伺いました。

〈焚き火は至福のひととき〉

少しでも時間があれば仕事終わりでもキャンプに出かけるという郷内さんは、キャンプでの焚き火が大好きだといいます。「友人と火を囲んでいる時は普段聞けないような話が出たりして盛り上がりやすいし、一人キャンプの時は日々の生活を丁寧に振り返ることが出来ます。川のせせらぎや葉擦れの音に耳を傾けながら炎を見ていると、不思議とリラックスできるんです」とお気に入りの時間の過ごし方について話してくれました。

〈楽しみ方は人それぞれ〉

日帰りで行くデイキャンプや、自然に近い環境で行う野営キャンプなど、これまで様々な楽しみ方をしてきた郷

内さんは「一人ひとりが自分に合った形で楽しめること」がキャンプの最大の魅力だといいます。道具をこだわりのブランドに統一したり、澄んだ空気の中で読書にふけったり、美味しいキャンプ飯を作ったり「自分らしさ」を追求できることはキャンプの醍醐味といえそうです。

〈地元でキャンプをする〉

恵まれたロケーションの本市では、地元の魅力をじっくり味わうローカルキャンプを気軽に楽しむことができます。例えば、キャンプ飯に地元の食材やお酒を取り入れることはローカルキャンプの楽しみ方のひとつです。「炭火で焼く干物は普段とはまた違った美味しさですよ」と焼き立ての干物を頼張りながら郷内さんは語ります。

市内には山の中腹や波の音が聴こえる海のそば、森の中でダイナミックに流れる滝付近など、様々な場所にキャンプ場があり、気分や好みに合わせてキャンプを楽しむことができます。郷内さんは「僕ははま滝オートキャンプ場が好きですが、これから他にも開拓したいんですよ。せっかくだらなキャンプ場がある沼津にいるんですから、体験しないともったいないですよ」と話してくれました。

皆さんも日常から一歩離れて、いつもとは一味違ったひとときを過ごしてみませんか。